

# 2020年度11月期ハイキング「多々良の自然と芸術探訪」の報告

実施担当：福祉環境科

2020年11月6日(金)、群馬県館林市の多々良沼周辺を散策しました。昨日までは晴天で暑い位でしたが、曇り空でチョット肌寒いようでしたがハイキングにちょうど良い気候でした。

今回は新型コロナウイルス及び、最寄り駅からの距離を考慮して自家用車で集合してもらいました。予定集合時間より大分早く皆さんに集まっていたので9時50分に館林美術館を参加者10名でスタートしました。



近代的で洗練された館林美術館



出発を待つメンバー



館林美術館を出発し、多々良沼に向かう



対岸の浮島弁財天を望む



野鳥観察棟にて



白鳥飛来地のガマ沼には多くのしらさぎや川鶺などが休んでいました



「赤ちゃんを運ぶ鳥」という伝説があるコウノトリもいました。野生のコウノトリを見るのは初めてでした、どこから飛来したのか?



紅葉が始まっている多々良沼周辺の木々



多々良沼の水量は少なく湖底が広く見えていました



浮島弁財天で記念撮影



11時20分 浮島弁財天近くで早目の昼食とりました



可憐な寒桜が見る人を癒しています



枯れた葦と蓮の一面が哀愁を漂わせています



高い松のいただきにアオサギが周囲をうかがっていました



多々良沼公園の見晴らし台から館林美術館を望む



「彫刻の小径」の作品をじっくりと鑑賞



作品名：ゆめ

「彫刻の小径」の作品群



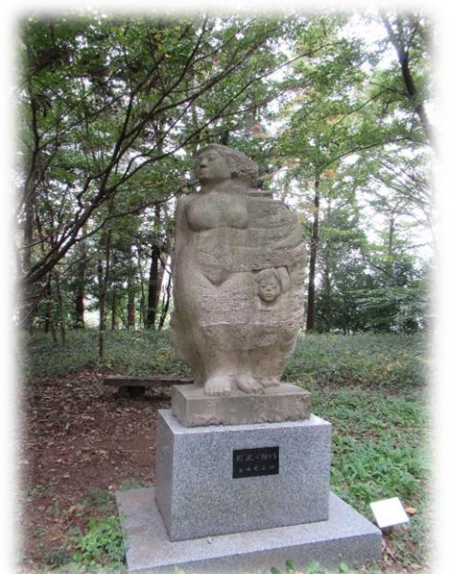
作品名：君も、J n m p



作品名：みどり



作品名：プリーズ・リクエスト



作品名：烈風に向かう



赤松が多い「彫刻の小径」に行く

13時50分 無事に出発地の館林美術館に到着しました。  
天候にも恵まれ、多々良沼周辺の自然と芸術を堪能できた事と思います。ここで一旦解散し、その後館林美術館を訪れた人も多かったです。約7kmの工程でしたがお疲れ様でした。

次回(12月4日)は「文福茶釜の茂林寺と館林の街歩き」です。実施担当のふるさと伝承科の皆さんよろしくお願ひします。

記：笹沢